

ヤツデ (ウコギ科)

葉が複数に裂けることから八つ手と呼ばれますが、実際は七つか九つに裂けることが多いです。白い花が咲き始めています。

## 展示会のご案内

◇展示資料館 1F (10/19~12/24)

特別企画展 種子の不思議展

◇展示温室(11/23~12/25)

クリスマス飾るフラワー展

◇イベント広場他(11/23~12/22までの土日)

花と光のページェント(夜間開園)

## カラマツ (マツ科)

漢字で書くと、「唐松」ですが、日本固有種です。また、唯一の落葉する針葉樹です。信州や北海道では、戦後の拡大造林の時代に大量に植林されました。軽井沢の自然を歌った野上彰の「落葉松」は名曲です。

## チャバンセンニン

(ツルボラン科)

南アフリカ原産のアロエの一種です。明るいオレンジ色の花を咲かせています。名前は、学名のアロエ・チャバウディーをもじったものです。幅広の葉で棘はあまり目立ちません。別名で洞乳錦とも呼ばれています。

## シンビジウム

トラキアヌム(ラン科)

東南アジアの高地原産の大型の野生ランです。褐色の筋が目立つ花を咲かせています。

## カエンカズラ

(ノウゼンカズラ科)

ブラジル原産。橙色でラッパ型の花をつけています。沖縄では民家の生垣などによく用いられる丈夫なつる植物です。

## ビヨウタコノキ (タコノキ科)

マダガスカル原産。タコノキ科でも特に葉が美しいことから美葉(ビヨウ)タコノキと呼ばれています。雌雄異株。この株は丸いゴツゴツした実が付いているので雌株です。

## クロガネモチ (モチノキ科)

濃い緑葉と赤実のコントラストが美しいです。雌雄異株なので、赤い実が付いている株は雌株です。樹皮から鳥もちを作ることができますが、小鳥を捕ることは鳥獣保護法で禁止されています。

## ハボタン (アブラナ科)

キャベツと同種で、そのルーツは江戸時代以前に日本に渡来した食用ケールだといわれています。日本で観賞用に改良された園芸植物で、冬の花壇に欠かせないものです。

さんばがわふゆざくら

## 三波川冬桜 (バラ科)

冬の間咲き続けるサクラで、オオシマザクラとマメザクラの交配種と言われています。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。通路の反対側には、八重咲きの子福桜(こぶくざくら)も咲いています。

## ヒイラギナンテン

‘チャリティー’ (メギ科)

葉がヒイラギに似てトゲがあり、常緑で艶があります。目立つ黄色い穂状花が咲き始めました。

